

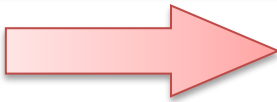
グローバル時代におけるICT政策に関するタスクフォース  
国際競争力強化検討部会

**最終報告書(案)概要**

---

平成22年10月5日

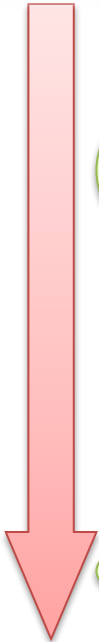
5月18日 中間取りまとめ  
(政策決定プラットフォーム)



## 主な反映箇所

	新成長戦略	新たな情報通信技術戦略(ICT戦略)
ICTグリーンプロジェクト	グリーン・イノベーションによる環境・エネルギー大国戦略	環境技術と情報通信技術の融合による低炭素社会の実現
「次世代社会インフラシステム」の国際展開	アジア経済戦略	オールジャパンの体制整備による国際標準の獲得・展開及び輸出・投資の促進
デジタルネイティブ世代のパワー等を活かした新事業の創出支援	科学・技術・情報通信立国戦略	若い世代の能力を活かした新事業の創出・展開
デジタルコンテンツ創富力の強化	知的財産・標準化戦略とクール・ジャパンの海外展開	コンテンツ強化を核とした成長戦略の推進 ※「知的財産推進計画2010」(5月21日知的財産戦略本部決定)
スマート・クラウド戦略	情報通信技術の利活用の促進	クラウドコンピューティングサービスの競争力の確保等

「新たな情報通信技術戦略(ICT戦略)」(5月11日高度情報通信ネットワーク社会推進本部決定)及び「新成長戦略」(6月18日閣議決定)に反映



平成23年度予算要求に反映

10月5日 最終報告書(案)

### ■ 具体的施策の明確化

➢ 中間取りまとめで示された基本的な考え方や具体的プロジェクトに基づき、今年度以降取り組むべき具体的な施策を明確化。

### ■ 標準化戦略の検討(国際標準化戦略に関する検討チーム)

➢ 国際競争力強化検討部会にて示された基本的な方向性を受けて、技術的・専門的な見地から検討を行い、今後の標準化の重点分野、具体的な進め方、推進体制等について検討し、取りまとめ。

### ■ 工程表(別冊)の追加

➢ 上記具体的施策の実現に向け、達成目標・年限等を盛り込んだ「工程表(別冊)」を策定。

## I. 3つの基本理念

### ● ICTによる持続的経済成長の実現

グローバル市場の成長を取り  
込んだICT産業への転換

### ● 日本のICT「総合力」の発揮

「課題先進国」としての国際貢献

### ● グローバルな「協働関係」の構築

相手国と共に課題解決を図る  
人中心のシステム作り

## II. 重点戦略分野

### ①重点推進プロジェクト

#### ICTグリーンプロジェクト

- スマートグリッド/スマートメータの推進
- ICTグリーン関連システムのスケールアウトの推進

#### 「次世代社会インフラシステム」の国際展開

- パッケージでのアジア展開
- 地デジ等主要通信インフラの国際展開
- ICT利活用モデルの国際展開

#### デジタルネイティブ世代のパワー等を活かした新事業の創出支援

- 高度ICT人材の育成
- デジタルネイティブ世代の活用
- BOP層を対象とした国際展開

#### デジタルコンテンツ創富力の強化

- コンテンツの発信力の強化
- コンテンツの活用による経済活性化
- デジタルコンテンツ流通環境の整備

#### スマート・クラウド戦略

- 「知識情報社会」と新たな経済成長を実現
- 「利活用戦略」「技術戦略」「国際戦略」の推進

### ②連携推進体制

#### グローバル展開推進体制の確立

- ICTグローバル・コンソーシアムの構築
- 国際的なフォーラム(ISDB-T国際ナショナル・フォーラム)等の活用推進

#### アジア連携ネットワーク基盤の構築

- 研究開発環境・人材のグローバル化プロジェクトの推進
- ネットワーク基盤の構築(「アジア光の道」構想)
- 「知識・言語グリッドプロジェクト」の推進

#### ファイナンス面での支援の充実・ODA資金の活用

- 政策金融制度の対象範囲・対象国の拡大
- ODAを活用した社会基盤整備の総合的な推進
- アジア高度人材ネットワークの形成

### ③技術戦略

#### 研究開発戦略

- 「グリーン」「ライフ」「未来革新技術」分野の重点プロジェクトの推進
- 研究開発の成果展開の推進

#### 国際標準化戦略

- 標準化活動に対する支援
- 標準化に関する重点分野

# 1. 3つの基本理念

## ● ICTによる持続的経済成長の実現・・・グローバル市場の成長を取り込んだICT産業への転換

- ICTは今後の経済成長を支える戦略的産業であり、グローバル市場の中で我が国ICT産業の国際競争力の強化を図ることが必要。
- 我が国の国際競争力は世界第21位。一方で、中国、インドその他のアジア新興国では、急速な経済成長・市場拡大が続いており、このようなグローバル市場の成長力を取り込んだICT産業の育成が急務。

## ● 日本のICT「総合力」の発揮・・・「課題先進国」としての国際貢献

- 我が国は少子高齢化をはじめとする様々な社会的課題について「課題先進国」であり、こうした課題は他国も共有するもの。このため、日本発の優れたプロジェクトを多数組成し、これをグローバル展開することにより、アジア各国等の課題解決に貢献することが可能。
- 新たな「課題解決モデル」をグローバル展開していくためには、これまでの企業や産業の枠を越えたオープンイノベーションを実現し、同業他社間、異業種企業間の連携により、ソリューション型プロジェクトの組成の他、企業の枠を越えた国際展開支援体制の整備、国際戦略ビジョンの共有化を図ることが必要。
- 「課題解決モデル」の組成に際しては、個々の要素技術や製品ではなく、オペレーションやマネジメントまで意識したトータルなシステムを構築し、そのグローバル展開を図っていくことが必要。
- また、政府はこうした民間部門の取組を積極的に支援し、官民一体となったグローバル展開を推進していくことが必要。

## ● グローバルな「協働関係」の構築・・・相手国と共に課題解決を図る人中心のシステム作り

- 日本の国際競争力を強化していくためには、単に日本の製品・サービスをグローバル展開するだけでなく、各国の実情を踏まえ、グローバルな「協働関係」に基づくシステム作りを目指すことが必要。
- その際、日本のこれまでの蓄積・強みを活かし、従来の供給サイドの視点に加え、消費者・利用者の視点を活かした「やわらかい」システム作りを重視することが必要。

# II. 重点戦略分野

## 重点推進プロジェクト

### ICTグリーンプロジェクト

#### ・スマートグリッド/スマートメータの推進

➢ 関連技術の技術仕様等を策定し、国際標準・規格作りを進めつつ、アジアを中心としたグローバル展開を目指す。

#### ・ICTグリーン関連システムのスケールアウトの推進

➢ 環境負荷軽減策に関する我が国のベストプラクティス等の各国への普及を図るとともに、ICTグリーン関連システムを社会システムとしてパッケージで展開。

### 「次世代社会インフラシステム」の国際展開

#### ・パッケージでのアジア展開

➢ 交通、物流、防災、教育等、ICTを組み込んだ具体的なグローバルモデルシステムを構築し、展開ロードマップを策定・実施。

#### ・地デジ等主要通信インフラの国際展開

➢ 地デジ・次世代ネットワーク・ワイヤレス等我国が強みを発揮しうる通信インフラ分野を強力に国際展開。

#### ・ICT利活用モデルの国際展開

➢ 国際貢献・国際協調の観点から、「アジアユビキタス特区(仮称)」等課題解決型モデルを積極的に展開。

### デジタルネイティブ世代の パワー等を活かした新事業 の創出支援

#### ・高度ICT人材の育成

➢ クラウド技術を活用して、高度ICT人材を育成するとともに、海外の優秀な人材を招へい。

#### ・デジタルネイティブ世代の活用

➢ デジタルネイティブ世代の創造性を活用し、そのビジネス展開について積極的に推進。

#### ・BOP層を対象とした国際展開

➢ BOP層を対象とした事業創出のために必要な支援策について検討。

### デジタルコンテンツ創富力の 強化

#### ・Jコンテンツの発信力の強化

➢ 「コンテンツ海外展開コンソーシアム(仮称)」に対する支援等、Jコンテンツの製作力・配信力を強化し、新しいコンテンツや事業の創出を図る。

#### ・コンテンツの活用による経済活性化

➢ 各地域においてデジタルコンテンツの活用と全国規模の相互交流を通じた経済活性化を実現。

#### ・デジタルコンテンツ流通環境の整備

➢ 健全なコンテンツ流通が可能な国内外の環境を整え、適正な利潤が得られる市場環境を整備。

### スマート・クラウド戦略

#### ・「利活用戦略」「技術戦略」「国際戦略」の推進

#### ・利活用戦略

➢ ICTの利活用が遅れている医療、教育、農業等の分野でクラウドサービスの普及を支援。

➢ スマートグリッド、次世代ITS等にクラウドサービスを活用した社会インフラの高度化を推進。

#### ・技術戦略

➢ リアルタイムのストリーミングデータの活用、セキュリティ、環境を柱とする次世代クラウド技術を開発。

#### ・国際戦略

➢ クラウドサービスを巡る国際的なルール作りに向けたコンセンサスの醸成を推進。

# 参 考

(平成23年度概算要求施策)

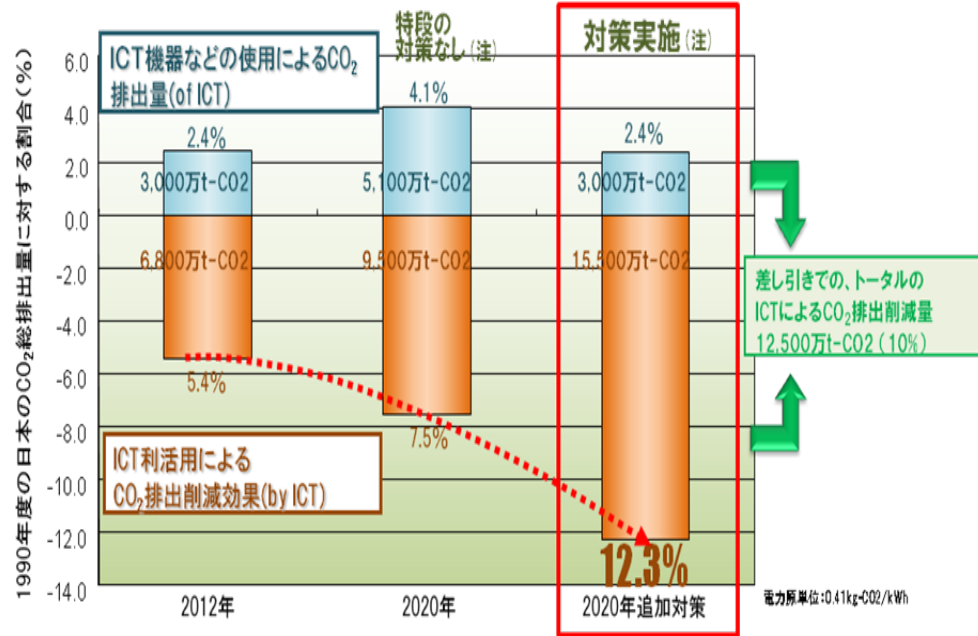
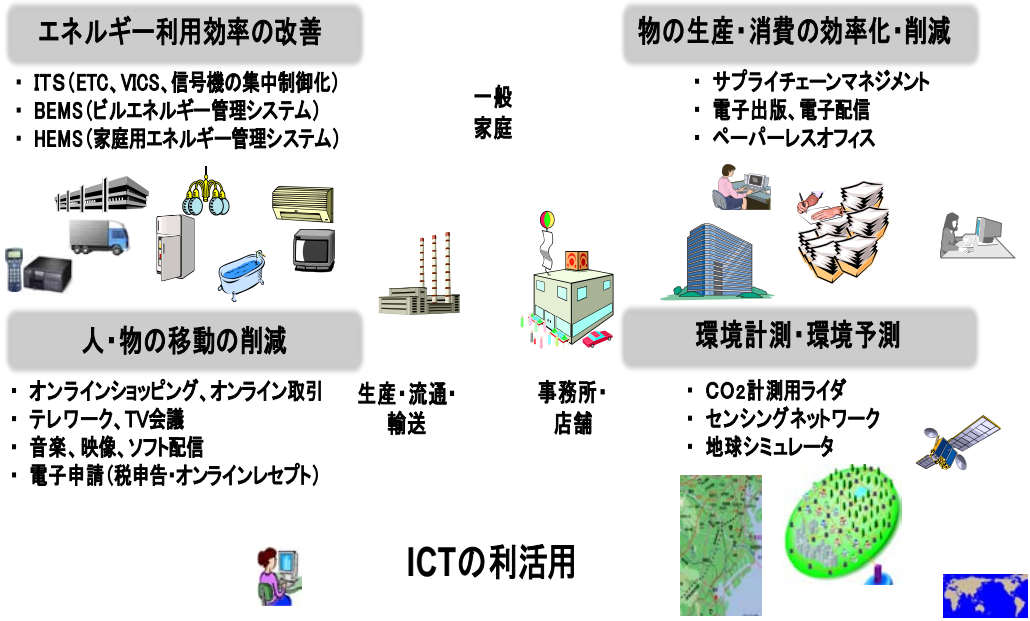
---

## ICTグリーンプロジェクト

### ■ グリーンICT推進事業(新規 23年度要求額:4.5億)

➤ 「ICT分野そのものの環境負荷軽減(Green of ICT)」と「ICTの利活用による社会経済活動の環境負荷軽減(Green by ICT)」のそれぞれについて、CO<sub>2</sub>削減のベストプラクティスモデル及び評価手法を確立し、国際機関を通じて、その成果を世界に普及する。

## グリーンICT推進事業



## 「次世代社会インフラシステム」の国際展開

### ICT海外展開の推進（継続 23年度要求額:17億）

- 我が国が強みを有するICTシステムの国際展開活動を加速するため、官民一体の連携体制の下、システムごとに、相手国の実態・ニーズを踏まえたロードマップを作成し、当該ICTシステムの展開を図るための調査の支援、モデルシステムの構築・運営、セミナーの開催等を戦略的に実施することにより、我が国のICT産業の国際標準化の推進を含めた国際競争力強化や成長力強化の支援を行う。

### アジアユビキタスシティ構想の推進（新規 23年度要求額:10億）

- ユビキタス特区事業等により確立された我が国の先端的なICT利活用技術の海外展開を支援することにより、当該地域での社会的課題の解決に役立てるとともに、我が国発ICTの国際標準化の推進、ICT産業の国際競争力の向上を実現する。具体的には、対象国を選定の上、①当該国政府と実証すべきICT分野や技術・制度面の課題等の洗い出し・調整、②相手国のニーズや事情に応じて改良したICTモデルの特定地域での実証実験の実施、③実証実験の実施に伴う人材育成、④実証結果を踏まえた当該国ICTモデルの確立等、の支援を行う。

## ICT海外展開の推進

日本の高度なICTの展開に向けたハイレベル間での調整

途上国等のニーズに対応したトータルパッケージ型モデル・システムの構築・運用

- ・主要通信インフラシステム
- ・課題解決型ICTシステム
- ・ICTを組み込んだ次世代インフラシステム

## アジアユビキタスシティ構想の推進

アジアに展開

国際貢献

国際標準

国際競争力強化

モデル都市での集中的実施

ユビキタス技術を活用した我が国のICTモデル



## デジタルネイティブ世代のパワー等を活かした新事業創出

### 高度ICT利活用人材育成プログラム開発事業（新規 23年度要求額:2億）

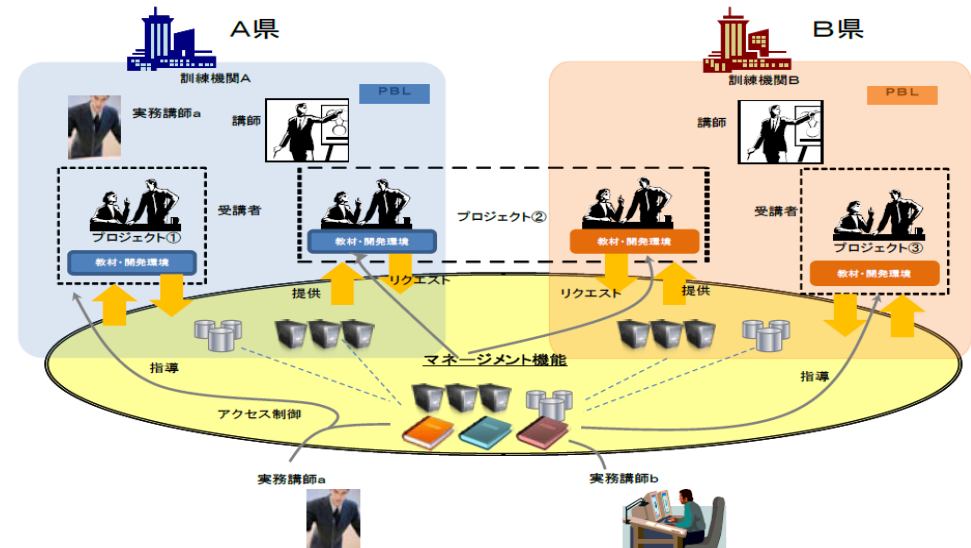
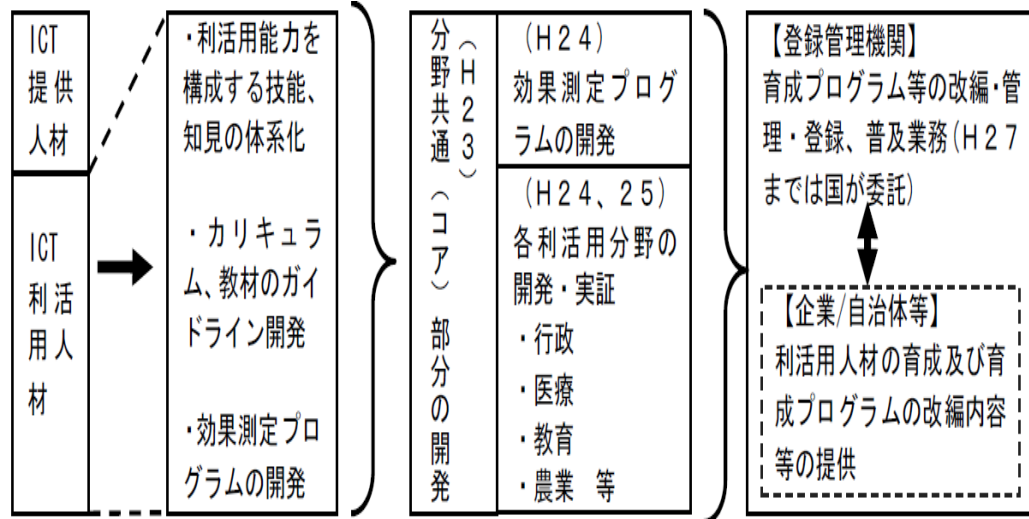
➤ 35万人が不足しているとされる高度ICT人材のうちの2/3を占める利活用人材について、利活用能力の向上を効果的に行うためのプログラムを開発し普及させることで不足を解消し、ICT利活用の一層の促進を図る。具体的には、クラウド技術の進展等によるICT利活用環境を前提としたICT利活用能力を構成する技能・知見を体系化し、それに基づくカリキュラム、教材ガイドライン、達成度合いを測るための基準等のプログラムを開発する。

### 最先端ネットワーク技術を活用した遠隔教育システムの開発・実証（継続 23年度要求額:1億）

➤ 最先端ネットワーク技術を用いた遠隔教育システムの開発・実証を行うことにより、ICT技術を必要とする幅広い分野の専門人材育成のための遠隔教育システムの実用化を促進する。具体的には、遠隔地間の高等教育機関における協調学習を実施するために開発したシステム管理機能、学習支援機能、教材等について、クラウド環境が異なる高等教育機関等において運用していくための汎用性、その他の機能及び稼働検証を行う。

## 高度ICT利活用人材育成プログラム

## 最先端ネットワーク技術を活用した遠隔教育システム



## デジタルコンテンツ創富力の強化

### 地域コンテンツ海外展開プロジェクト（新規・継続 23年度要求額：8.5億）

➤ 海外の放送枠確保及び国際共同製作を通じて、日本の優れたコンテンツを継続的に海外発信することにより、日本のプレゼンス向上、国際競争力強化、観光立国推進に貢献しつつ、地域の物産、観光資源等を海外発信する取組を支援し、地域経済の活性化、コンテンツ製作力の強化を図る。

### デジタルコンテンツ力創造事業（新規 23年度要求額：5億）

➤ 新たな形態のデジタルコンテンツ流通に係る実証実験の実施を通じ、デジタル化・ネットワーク化の進展に即したコンテンツ保護の技術的課題等を抽出し、これらの展開を可能とするルール整備、コンテンツ流通に関する技術仕様の共通化等を行うことにより、新事業創出環境整備及び地域コンテンツ力創造を推進する。

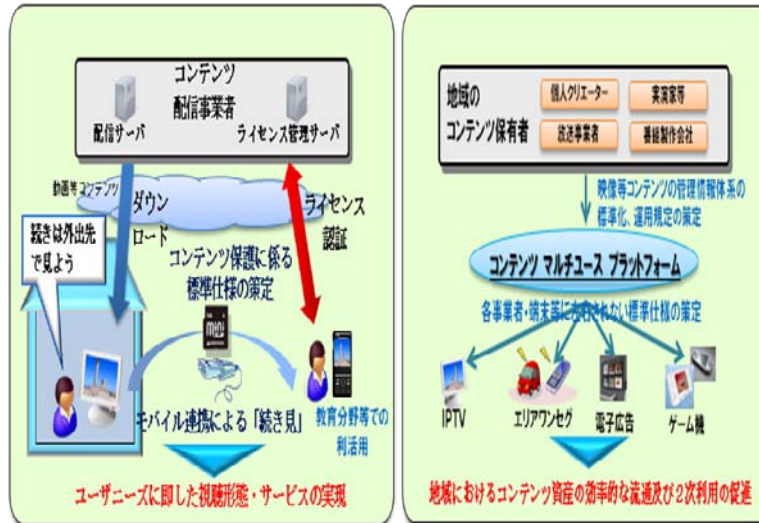
### デジタル文明開化プロジェクト（継続 23年度要求額：0.5億）

➤ デジタル出版の利活用を推進するための技術的課題を解決するとともに、国内に眠っている知的資産の総デジタル化を進め、インターネット上で電子情報として共有・利用できる仕組み（デジタルアーカイブ）の構築へ向けて、関係機関と連携した取組を推進する。

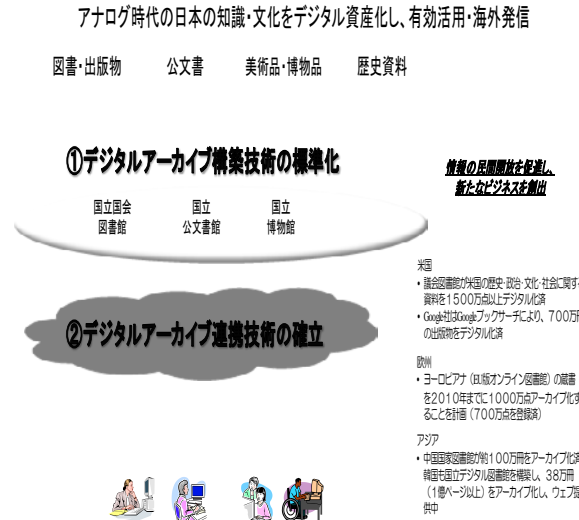
## 地域コンテンツ海外展開プロジェクト



## デジタルコンテンツ力創造事業



## デジタル文明開化プロジェクト



## スマート・クラウド戦略

- ASP・SaaS普及促進環境基盤整備事業（継続 23年度要求額:1.2億）**
  - 世界最先端のブロードバンド環境が整備されているという我が国の強みを生かしICT利活用を推進していく上で極めて有効なツールであるASP・SaaSの安心・安全な利用環境を整備するため、分野別ガイドライン等の策定や、ASP・SaaSの利用高度化のための実証実験を実施する。
- 新ICT利活用サービス創出支援事業（継続 23年度要求額:8億）**
  - ICTの徹底利活用の促進による持続的経済成長、新たな市場の創造等を実現する観点から、総務省が解決を要すべき分野・課題を提示し、ICTを利活用した新しいサービス、ソリューションの創出を実現する技術の確立、技術標準化、運用ガイドラインの策定等を達成するための開発・実証プロジェクトを委託。
- 中小・ベンチャー企業向け先進的クラウドサービス創出支援事業（新規 23年度要求額:2億）**
  - 中小・ベンチャー企業に対して、JGNやNICT等の有する研究成果、政府統計等の統計データが利用可能なクラウドサービスの開発環境を提供し、中小・ベンチャー企業による我が国が強みを持つネットワーク技術等を活かし、かつ世界最先端のブロードバンド基盤を最大限活用したクラウドサービスの創出を支援する。

### ASP・SaaS普及促進

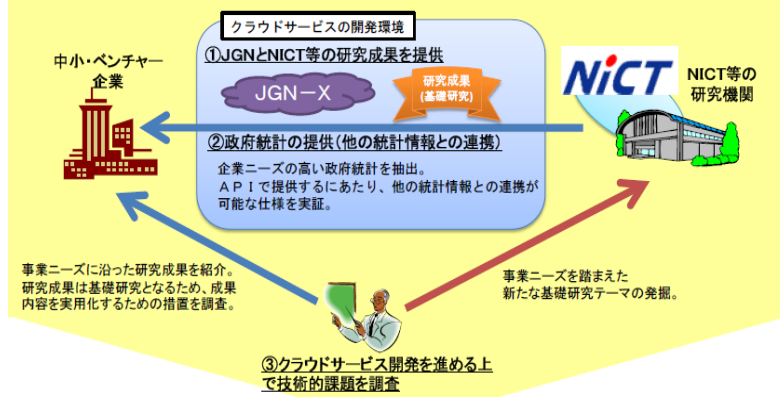
◇アプリケーションソフト等は、ASP・SaaS事業者側が保有  
 ◇利用者は、事業者サーバーに接続し、アプリケーション等をサービスとして利用



### 新ICT利活用サービス創出支援



### 中小・ベンチャー企業向け先進的クラウドサービス



### 新たなクラウドサービスの創出

## アジア連携ネットワーク基盤の構築

### ■ テストベッドネットワークの拡充・機能強化（新規 23年度要求額:53.5億※NICT交付金）

➢ グローバル環境下におけるネットワーク分野の研究開発・実証実験の推進を目的として、国内の主要拠点とアジア地域等を結ぶテストベッドネットワークについて、次世代クラウド技術や新世代ネットワーク技術などの新しい技術の研究開発やサービス・アプリケーションの検証を実施するために必要な機能強化を行うとともに、多様な分野での研究開発における我が国とアジア諸国との国際連携の進捗等を踏まえつつ、回線構成を拡充する。

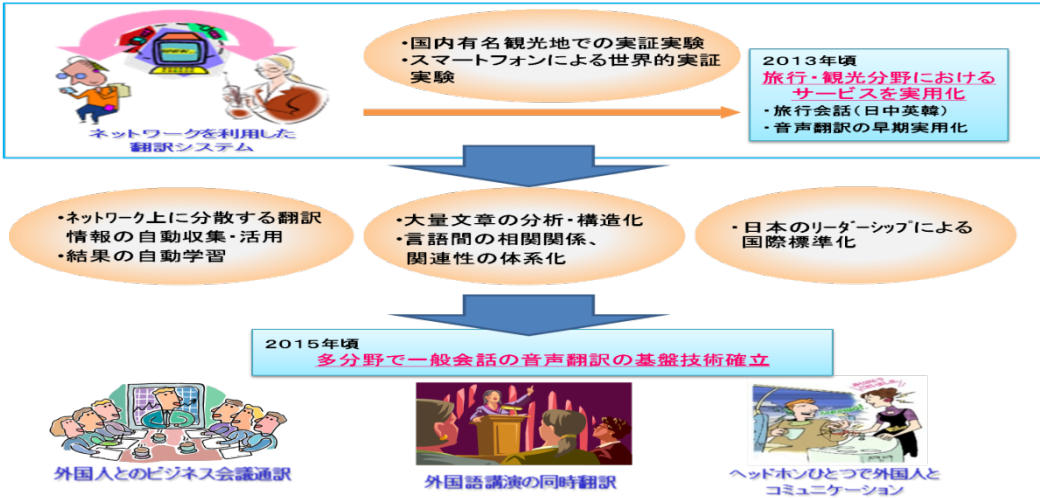
### ■ ユニバーサル音声・言語コミュニケーション技術の研究開発（継続 23年度要求額:22億※NICT交付金）

➢ コミュニケーションのグローバル化が進む中、言語・文化にかかわらず、また、システムの介在を意識することなく、いつでも、どこでも、だれもが必要な情報に容易にアクセスして、その内容を分析し、互いの円滑なコミュニケーションを可能とするため、音声・言語コミュニケーション技術の研究開発及び実証実験を行うとともに、APEC等のマルチ会合の場を活用して研究開発成果のデモンストレーション(PR)を実施することにより、アジア諸国における成果の活用促進及び言語基盤の強化に貢献する。

## 新世代通信網テストベッド(JGN-X)



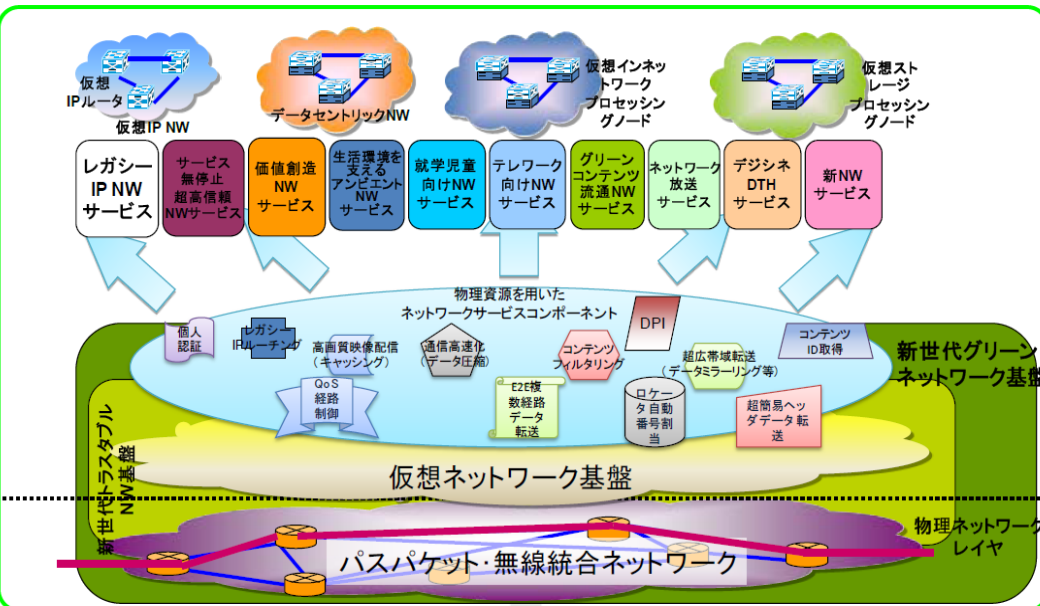
## ユニバーサル音声・言語コミュニケーション技術



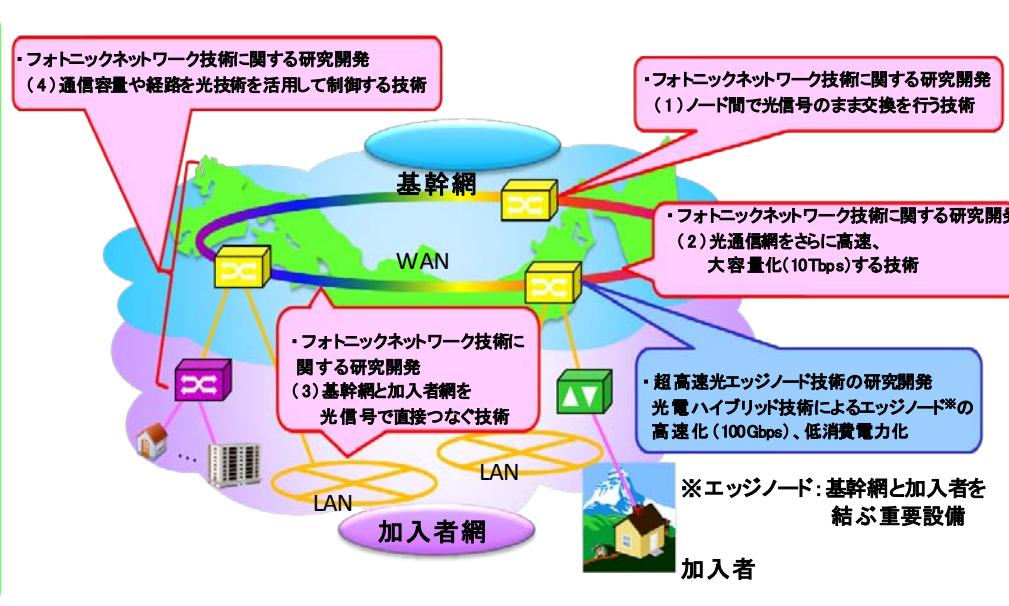
## 研究開発戦略

- **新世代ネットワーク基盤技術に関する研究開発**（新規 23年度要求額:13億※NICT交付金）
  - 信頼性やセキュリティ等の現在のネットワークが抱える様々な課題を解決し、柔軟で環境に優しく、国民の誰もがどんなときでも安心・信頼できる将来の社会基盤のネットワークとして、インターネットの次の新たな世代のネットワークを2020年頃を実現することを目指し、産学官の力を結集して基盤技術の研究開発を推進する。
- **フォトニックネットワーク技術、超高速光エッジノード技術の研究開発**（新規 23年度要求額:32億※一部NICT交付金）
  - 通信経路の集約・切替を行うノードにおいて大容量のデータを高速・低電力に処理するための技術、各家庭に光通信を低エネルギーで提供する光ネットワーク制御技術、光ファイバの容量を飛躍的に向上させる革新的光多重技術、オール光ルータを実現するための技術などの研究開発を実施する。

### 新世代ネットワーク基盤技術



### フォトニックネットワーク技術・超高速光エッジノード技術



## 国際標準化戦略

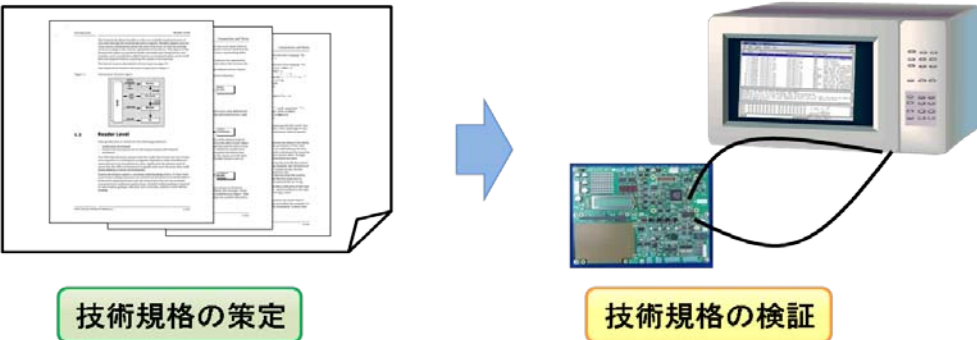
### 情報通信分野における標準化活動の強化（新規 23年度要求額:1.7億）

- 「知的財産推進計画2010(平成22年5月)」や本タスクフォース等において挙げられている標準化に関する重点分野に係る「デファクト」標準について、技術規格の策定や検証等を目的とした標準化動向調査、実証実験等を実施する。

### 最先端のグリーンクラウド基盤構築に向けた研究開発（継続 23年度要求額:15.5億）

- 複数のクラウドが高度に連携し、ネットワーク全体で2～3割もの省電力化を図りつつ、高信頼・高品質なクラウドサービスを提供する最先端の『グリーンクラウド基盤』の構築に向けた研究開発を推進するとともに、民間フォーラムと連携しつつ次世代クラウド技術の国際標準化を目指す。

## 情報通信分野における標準化活動



## 最先端のグリーンクラウド基盤構築

